

奈良県 公立高校の入試制度

【2026年度版】

入試概要

2026年度、従来の特色選抜と一般選抜を「一次選抜」として一本化します。第2希望まで出願できますが、第1希望と第2希望では出願期間が分かれており、第2希望として出願できるのは、第一出願期間で募集定員に満たなかった学科のみです。希望の学科に出願できるとは限らないので、選抜機会は実質1回と考えておきましょう。

第一出願期間	第二出願期間	検査日	合格発表
2/16(月)～24(火)	2/25(水)～3/2(月)	3/4(水)・5(木)	3/13(金)

●出願は基本的に1校1学科のみですが、一部、同一校内で第2・第3志望まで出願可能な場合があります。その場合、第1希望校、第2希望校それぞれで第1～3志望の学科を志願することができます。詳細は各学校の要項で定められていますが、基本的には似た分野について学ぶ学科間で認められています。

●一次選抜の合格者が定員に満たない場合、二次選抜を実施します。
[二次選抜 出願 3/16(月)～18(水) 学校独自検査 3/24(火) 合格発表 3/25(水)]

調査書

調査書の「各教科の学習成績」は1・2年次の学習状況評価に用いる観点3(※)(3段階)と、3年次の評定(5段階)が用いられます。点数の算出方法は4パターンあり、どのパターンで取扱うかは各校が定め、あらかじめ公表されます。

※ 観点1：知識・技能、観点2：思考・判断・表現、観点3：主体的に学習に取り組む態度

・パターン① (合計144点満点)

1年(3段階×9科＝27点)＋2年(27点)＋3年(5段階×9科＝45点)×2倍

・パターン② (合計234点満点)

1年(27点)＋2年(27点)＋3年(45点)×4倍

・パターン③ (合計198点満点)

1年(27点)×2倍＋2年(27点)×2倍＋3年(45点)×2倍

・パターン④ (合計180点満点)

3年(45点)×4倍 ※1・2年次の成績は調査書点に含まない

●加点・加重配点

体育に関する学科では、「特技に関する記録〔体育〕」を点数化し加算します。

そのほか、普通科以外の学科・普通科のコースでは高校が重視する教科に加重配点を行う場合があります。

【例】パターン①で音楽を2倍する加重配点の場合、 $144 + 16 = 160$ 点満点

検査

●普通科（コースを除く）

- ・国語・数学・英語・理科・社会の学力検査（各50分，50点満点）

●普通科以外の学科，普通科のコース

①か②のどちらか

① 国語・数学・英語・理科・社会の学力検査（各50分，50点満点）

② 国語・数学・英語の学力検査（各50分，50点満点）
学校独自検査（独自問題・作文・面接・実技から1つ以上選択）

[学校独自検査]

- ・独自問題，作文

高校が独自に検査を作成して実施します。

- ・面接

個人面接または集団面接。出願時に提出する「自己アピール文」を資料として実施します。志望動機や将来の希望，高校生活への意欲や抱負について問います。自己アピール文自体は点数化しません。

- ・実技

体育・芸術に関する学科，山辺高校自立支援農業科で実施します。

選抜

学力検査成績，学校独自検査成績，調査書成績，調査書のその他の記載事項を資料として，総合的に合否を判定します。

●調査書の特別な取り扱い

「調査書の特別な取り扱い」を行う高校では，募集人員の一部について，調査書のその他の記載事項の中で重視する事項を定めて点数化して調査書成績に加算します。

この場合，一次選抜の募集人員から調査書の特別な取り扱いによる合格人数枠を除いた人数を通常の方法で選抜した後で，まだ合格となっていない受験者を対象として，調査書の特別な取り扱いによる判定を行ないます。

●第2希望校の選抜

第2希望校として受験したものを対象として，募集人員の未充足分について，国語・数学・英語の学力検査成績，調査書成績，特技に関する記録の合計点の多いものから順に合格者とするを原則とし，調査書のその他の記載事項を資料として総合的に合否を判定します。